



2026年5月13日

各 位

会社名 J C R ファーマ株式会社  
代表者名 代表取締役社長 藺田 啓之  
(コード番号 4552 東証プライム市場)  
問合せ先 常務執行役員経営戦略本部長 伊 藤 洋  
E-mail : ir-info@jp.jcrpharm.com

(訂正・数値データ訂正)

「2026年3月期 第3四半期 決算短信〔日本基準〕(連結)」の一部訂正について

JCRファーマ株式会社(代表取締役社長:藺田 啓之)は、2026年1月28日に公表しました「2026年3月期 第3四半期 決算短信〔日本基準〕(連結)」を訂正しましたので、下記の通りお知らせします。

また、数値データにも訂正がありましたので、訂正後の数値データも送信します。

記

1. 訂正の理由

「2026年3月期 第3四半期 決算短信〔日本基準〕(連結)」の記載に一部誤りがありましたので、訂正を行うものです。

2. 訂正の内容(訂正箇所には下線を付して表示しています。)

以 上



## 2026年3月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

2026年1月28日

上場会社名 JCRファーマ株式会社 上場取引所 東  
 コード番号 4552 URL <https://www.jcrpharm.co.jp/>  
 代表者 (役職名) 代表取締役会長兼社長 (氏名) 芦田 信  
 問合せ先責任者 (役職名) 上席執行役員経営戦略本部長 (氏名) 伊藤 洋 TEL 0797(32)1995  
 配当支払開始予定日 —  
 決算補足説明資料作成の有無：有  
 決算説明会開催の有無：有 (機関投資家・アナリスト向け)

(百万円未満切捨て)

### 1. 2026年3月期第3四半期の連結業績（2025年4月1日～2025年12月31日）

#### (1) 連結経営成績（累計）

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2026年3月期第3四半期	30,353	17.3	477	—	761	—	1,779	—
2025年3月期第3四半期	25,880	△23.2	△754	—	△1,380	—	△576	—

(注) 包括利益2026年3月期第3四半期 1,715百万円 (14.5%) 2025年3月期第3四半期 1,497百万円 (△74.8%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2026年3月期第3四半期	14.59	14.58
2025年3月期第3四半期	△4.63	—

(注) 2025年3月期第3四半期の「潜在株式調整後1株当たり四半期純利益」については、潜在株式は存在するものの1株当たり四半期純損失であるため記載しておりません。

#### (2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2026年3月期第3四半期	113,195	47,084	41.2
2025年3月期	104,849	47,734	45.1

(参考) 自己資本 2026年3月期第3四半期 46,583百万円 2025年3月期 47,266百万円

### 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2025年3月期	—	10.00	—	10.00	20.00
2026年3月期	—	10.00	—	—	—
2026年3月期(予想)	—	—	—	10.00	20.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無：無

### 3. 2026年3月期の連結業績予想（2025年4月1日～2026年3月31日）

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属 する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	39,500	19.4	400	—	400	—	1,600	—	13.12

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無：有

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における連結範囲の重要な変更：無  
新規 ー社 (社名) ー、除外 ー社 (社名) ー

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用：無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数 (普通株式)

① 期末発行済株式数 (自己株式を含む)	2026年3月期3Q	129,686,308株	2025年3月期	129,686,308株
② 期末自己株式数	2026年3月期3Q	7,699,902株	2025年3月期	7,851,002株
③ 期中平均株式数 (四半期累計)	2026年3月期3Q	121,926,886株	2025年3月期3Q	124,422,312株

※ 添付される四半期連結財務諸表に対する公認会計士又は監査法人によるレビュー：無

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

(将来に関する記述等についてのご注意)

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料4ページ「1. 経営成績等の概況 (3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

## ○添付資料の目次

1. 経営成績等の概況 .....	2
(1) 当四半期の経営成績の概況 .....	2
(2) 当四半期の財政状態の概況 .....	4
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明 .....	4
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記 .....	5
(1) 四半期連結貸借対照表 .....	5
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書 .....	7
四半期連結損益計算書 .....	7
四半期連結包括利益計算書 .....	8
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項 .....	9
(セグメント情報等の注記) .....	9
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記) .....	9
(継続企業の前提に関する注記) .....	9
(四半期連結損益計算書関係) .....	9
(四半期連結キャッシュ・フロー計算書に関する注記) .....	9

## 1. 経営成績等の概況

## (1) 当四半期の経営成績の概況

## ①当期の経営成績

売上高は303億53百万円（前年同期比17.3%増）となりました。

ムコ多糖症Ⅱ型治療剤「イズカーゴ<sup>®</sup>点滴静注用10mg」は好調に推移しました。一方で、遺伝子組換え天然型ヒト成長ホルモン製剤「グロウジェクト<sup>®</sup>」が2025年4月の薬価改定の影響で減収となったことなどにより、製品売上は減収となりましたが、契約金収入が増加した結果、前年同期に比べて増収となりました。

また、積極的な研究開発活動に加えて、デュシェンヌ型筋ジストロフィー治療薬Givinostatの日本における開発および商業化についての独占的ライセンス権をItalfarmaco社から取得したことに伴う契約一時金計上の結果、研究開発費は増加し133億72百万円（前年同期比34億47百万円増）となりました。

これらの結果、営業利益は4億77百万円（前年同期は営業損失7億54百万円）、経常利益は7億61百万円（前年同期は経常損失13億80百万円）、親会社株主に帰属する四半期純利益は17億79百万円（前年同期は親会社株主に帰属する四半期純損失5億76百万円）を計上しております。

	前第3四半期連結累計期間 (自 2024年4月1日 至 2024年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2025年4月1日 至 2025年12月31日)	増減
	金額(百万円)	金額(百万円)	%
売上高	25,880	30,353	17.3
営業利益又は営業損失(△)	△754	477	—
経常利益又は経常損失(△)	△1,380	761	—
親会社株主に帰属する四半期純利益又は 親会社株主に帰属する四半期純損失(△)	△576	1,779	—

## ②主な売上

	前第3四半期連結累計期間 (自 2024年4月1日 至 2024年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2025年4月1日 至 2025年12月31日)	増減
	金額(百万円)	金額(百万円)	%
ヒト成長ホルモン製剤 グロウジェクト <sup>®</sup>	14,177	13,539	△4.5
ムコ多糖症Ⅱ型治療剤 イズカーゴ <sup>®</sup> 点滴静注用	4,456	5,179	16.2
腎性貧血治療薬 エポエチンアルファBS注「JCR」	2,595	2,346	△9.6
ダルベポエチンアルファBS注「JCR」	1,250	595	△52.4
再生医療等製品 テムセル <sup>®</sup> HS注	1,345	1,750	30.1
再生医療等製品 テムセル <sup>®</sup> HS注	2,296	2,212	△3.7
ファブリー病治療薬 アガルシダーゼベータBS点滴静注「JCR」	1,149	863	△24.8
製品計	24,675	24,141	△2.2
契約金収入	517	5,249	914.9

## ③研究開発の状況

## [ライソゾーム病治療薬]

- ・当社では現在、17種類を超えるライソゾーム病治療薬について、独自の血液脳関門通過技術「J-Brain Cargo<sup>®</sup>」を適用した新薬の研究開発に重点的に取り組んでおります。
- ・血液脳関門通過型ハンター症候群治療酵素製剤パピナフスプ アルファ（開発番号：JR-141）については、現在、グローバル臨床第3相試験を実施しております。試験の進捗は順調であり、目標症例数の組入れを達成いたしました。また、新薬承認申請の戦略について協議をするため、2025年6月に米国食品医薬品局（FDA）とミーティングを行いました。
- ・血液脳関門通過型ムコ多糖症Ⅰ型治療酵素製剤lepunafusp alfa（開発番号：JR-171）については、日本・ブラジル・米国での13週間の臨床第1/2相試験およびその継続試験を完了いたしました。当該品目については、自社開発ではなくライセンスアウトにより開発を進める方針であり、パートナー候補との導出交渉を進めております。
- ・血液脳関門通過型ムコ多糖症ⅢA型治療酵素製剤posnafusp alfa（開発番号：JR-441）については、ドイツにて臨床第1/2相試験が進行中であり、予定していた症例登録を完了いたしました。日本で実施中の臨床第1相試験についても、目標症例数の登録を完了し、試験は順調に進捗しております。なお、2022年1月に欧州委員会（EC）より、2023年12月にFDAより、そして2024年12月に厚生労働省より、オーファンドラッグ（希少疾病用医薬品）の指定を受けております。
- ・血液脳関門通過型ムコ多糖症ⅢB型治療酵素製剤（開発番号：JR-446）については、2023年9月に株式会社メディパルホールディングスと、海外における事業化についての実施許諾契約および日本における共同開発・商業化契約を締結いたしました。2024年12月に日本国内において臨床第1/2相試験での治験薬投与が開始されました。また、2025年4月にはFDAより、2025年6月にはECより、そして2025年9月に厚生労働省より、オーファンドラッグ（希少疾病用医薬品）の指定を受けております。
- ・J-Brain Cargo<sup>®</sup>を適用したその他の開発品目であるフコシドーシス治療薬候補（開発番号：JR-471）については、2022年10月に締結した実施許諾契約に基づき、株式会社メディパルホールディングスに対し、日本を除く全世界における研究・開発、製造および販売などの事業化に関する再実施許諾権付の独占的実施権を許諾いたしました。現在、臨床試験開始に向けて必要な研究等を進めております。さらに2025年8月には、同社との間で、GM2ガングリオシドーシスに対する治療薬候補（開発番号：JR-479）の海外における事業化についての実施許諾契約および日本における共同開発・商業化契約を締結いたしました。

## [ヒト成長ホルモン製剤]

- ・長時間作用型遺伝子組換えヒト成長ホルモン製剤redalsomatropin alfa（開発番号：JR-142）については、2024年12月に日本国内において臨床第3相試験での治験薬投与が開始されました。なお、臨床第2相試験の継続試験は引き続き実施中であります。

## [デュシェンヌ型筋ジストロフィー治療薬]

- ・当社は2025年12月にデュシェンヌ型筋ジストロフィー治療薬Givinostat（欧米での販売名：Duvyzat<sup>®</sup>）の日本における開発および商業化についての独占的ライセンス権をItalfarmaco社から取得いたしました。日本における早期の承認取得を目指して本薬の開発計画を検討中であります。

## [基盤技術の創出]

J-Brain Cargo<sup>®</sup>

- ・JCR独自の血液脳関門通過技術「J-Brain Cargo<sup>®</sup>」について、様々なモダリティへの応用可能性を広げる研究を進めるほか、技術の導出に注力しております。2025年7月、血液脳関門通過型アルツハイマー病治療薬の開発を目指して、Acumen Pharmaceuticals社へのJ-Brain Cargo<sup>®</sup>技術導出に関するライセンスのオプション契約を締結いたしました。

## JUST-AAV

- ・J-Brain Cargo<sup>®</sup>技術に続く新たな基盤技術の創出に注力しており、その成果のひとつとして、アデノ随伴ウイルスベクターを用いた新しい遺伝子治療技術「JUST-AAV」を創出いたしました。特定の組織へと効率的にベクターを送達できるだけでなく、肝臓へのベクターの集積を低減することで副作用の軽減も期待され、新たなプラットフォーム技術として開発を進めております。この技術に関連して、2023年12月より株式会社モダリスと本技術を用いた新規遺伝子治療の開発に向けた共同研究を開始し、2025年1月に本共同研究において初期の技術コンセプトの検証を達成したため、新たな共同研究契約を締結いたしました。また、2025年7月に新規遺伝子治療用製品の開発を目的として、アレクシオン・アストラゼネカ・レアディジーズ社にJUST-AAV技術を導出するライセンス契約を締結いたしました。

## [その他]

- ・2025年12月に、Italfarmaco社と希少疾病治療薬についての戦略的提携についての契約を締結いたしました。これにより、両社のポートフォリオの拡充を目指すとともに、当社の研究開発パイプラインおよび基盤技術における共同の機会を探求いたします。

## (2) 当四半期の財政状態の概況

当第3四半期連結会計期間末における資産合計は1,131億95百万円（前連結会計年度末比83億46百万円増）、負債合計は661億10百万円（前連結会計年度末比89億95百万円増）、純資産合計は470億84百万円（前連結会計年度末比6億49百万円減）となりました。

流動資産は、現金及び預金、売掛金及び契約資産および棚卸資産が増加したことなどにより、前連結会計年度末に比べ75億13百万円増加して590億1百万円となりました。固定資産につきましては、神戸サイエンスパークセンター補助金確定の圧縮記帳に伴い有形固定資産が減少した一方で、新製剤工場建設に伴う建設仮勘定が増加したことなどにより、前連結会計年度末に比べ8億32百万円増加して541億94百万円となりました。

流動負債は、圧縮未決算特別勘定が減少した一方で、短期借入金および未払金が増加したことなどにより、前連結会計年度末に比べ61億97百万円増加して498億80百万円となりました。固定負債は、長期借入金が増加したことなどにより、前連結会計年度末に比べ27億98百万円増加して162億30百万円となりました。

純資産につきましては、親会社株主に帰属する四半期純利益を計上した一方で、配当金の支払やその他有価証券評価差額金が減少したことなどにより、前連結会計年度末に比べ6億49百万円減少して470億84百万円となりました。

これらの結果、当第3四半期連結会計期間末における自己資本比率は、前連結会計年度末に比べ3.9ポイント低下して41.2%となりました。

## (3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

当社は、2025年5月13日公表の通期連結業績予想を修正いたしましたので、お知らせいたします。なお、詳細につきましては、本日発表しております「通期連結業績予想の修正に関するお知らせ」をご参照ください。

売上高は、腎性貧血治療薬やファブリー病治療薬等が想定を上回る見込みであり、前回発表予想から17億円増の395億円に修正いたしました。

売上原価は、売上の増加および製品構成の変化等により、前回発表予想から12億円増加する見込みであります。

費用面では、2025年12月にデュシェンヌ型筋ジストロフィー治療薬Givinostatの日本における開発および商業化についての独占的ライセンス権をItalfarmaco社から取得したことに伴う契約一時金を当第3四半期に研究開発費に計上したため、研究開発費を前回発表予想から15億円増額修正いたしました。

販売費及び一般管理費は、神戸サイエンスパークセンター（原薬工場）の補助金確定に伴い、確定までに発生した減価償却費を計上したこと、および当第3四半期までの実績等を踏まえて、前回発表予想から12億円増額修正いたしました。

これらの結果、営業利益は前回発表予想から22億円減の4億円に、経常利益は前回発表予想から20億円減の4億円に、親会社株主に帰属する当期純利益は前回発表予想から14億円減の16億円に修正いたしました。

なお、配当予想につきましては、前回予想から変更はありません。

## 2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

## (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2025年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2025年12月31日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	13,196	15,643
売掛金及び契約資産	12,236	14,829
商品及び製品	2,573	1,244
仕掛品	6,412	8,226
原材料及び貯蔵品	13,202	15,915
その他	3,866	3,143
貸倒引当金	—	△1
流動資産合計	51,487	59,001
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	13,229	6,683
土地	10,587	11,029
建設仮勘定	9,190	19,161
その他(純額)	4,097	2,361
有形固定資産合計	37,104	39,235
無形固定資産		
特許権	1,881	1,673
その他	1,079	955
無形固定資産合計	2,960	2,629
投資その他の資産		
投資有価証券	9,629	9,383
その他	3,671	2,951
貸倒引当金	△4	△4
投資その他の資産合計	13,295	12,329
固定資産合計	53,361	54,194
資産合計	104,849	113,195
<b>負債の部</b>		
流動負債		
買掛金	590	1,676
短期借入金	26,055	37,762
未払法人税等	36	197
圧縮未決算特別勘定	11,996	—
賞与引当金	1,089	619
役員賞与引当金	127	93
その他	3,788	9,530
流動負債合計	43,683	49,880
固定負債		
長期借入金	12,050	14,850
従業員株式給付引当金	120	101
退職給付に係る負債	966	1,016
その他	294	263
固定負債合計	13,431	16,230
負債合計	57,114	66,110

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2025年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2025年12月31日)
<b>純資産の部</b>		
株主資本		
資本金	9,061	9,061
資本剰余金	10,392	10,378
利益剰余金	<u>31,490</u>	<u>30,826</u>
自己株式	<u>△5,066</u>	<u>△4,974</u>
株主資本合計	<u>45,878</u>	<u>45,292</u>
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	937	817
繰延ヘッジ損益	2	△1
為替換算調整勘定	393	429
退職給付に係る調整累計額	53	44
その他の包括利益累計額合計	<u>1,387</u>	<u>1,290</u>
新株予約権	75	75
非支配株主持分	392	425
純資産合計	<u>47,734</u>	<u>47,084</u>
負債純資産合計	<u>104,849</u>	<u>113,195</u>

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書  
(四半期連結損益計算書)

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2024年4月1日 至 2024年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2025年4月1日 至 2025年12月31日)
売上高	25,880	30,353
売上原価	7,007	6,717
売上総利益	18,873	23,636
販売費及び一般管理費	19,627	23,158
営業利益又は営業損失(△)	△754	477
営業外収益		
受取利息	91	54
受取配当金	34	38
投資有価証券売却益	1	82
為替差益	—	566
その他	74	153
営業外収益合計	200	895
営業外費用		
持分法による投資損失	433	134
支払利息	103	308
支払手数料	55	40
減価償却費	143	113
為替差損	77	—
その他	12	14
営業外費用合計	827	611
経常利益又は経常損失(△)	△1,380	761
特別利益		
投資有価証券売却益	—	209
助成金収入	—	※ 1,882
新株予約権戻入益	393	—
契約解約益	627	—
その他	44	—
特別利益合計	1,065	2,091
特別損失		
固定資産処分損	2	31
特別損失合計	2	31
税金等調整前四半期純利益又は 税金等調整前四半期純損失(△)	△317	2,822
法人税、住民税及び事業税	35	167
法人税等調整額	125	823
法人税等合計	161	990
四半期純利益又は四半期純損失(△)	△478	1,831
非支配株主に帰属する四半期純利益	97	52
親会社株主に帰属する四半期純利益又は 親会社株主に帰属する四半期純損失(△)	△576	1,779

## (四半期連結包括利益計算書)

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2024年4月1日 至 2024年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2025年4月1日 至 2025年12月31日)
四半期純利益又は四半期純損失(△)	△478	1,831
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	1,585	△119
繰延ヘッジ損益	1	△4
為替換算調整勘定	6	16
退職給付に係る調整額	△18	△9
持分法適用会社に対する持分相当額	401	—
その他の包括利益合計	1,976	△116
四半期包括利益	1,497	1,715
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	1,397	1,682
非支配株主に係る四半期包括利益	100	33

## (3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(セグメント情報等の注記)

当社グループは「医薬品事業」の単一セグメントであるため、記載を省略しております。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(四半期連結損益計算書関係)

※助成金収入

当第3四半期連結累計期間(自 2025年4月1日 至 2025年12月31日)

過年度に受け取り圧縮未決算特別勘定に計上していた助成金のうち、固定資産の圧縮記帳額及び未使用の返還額を控除した金額を計上しております。

(四半期連結キャッシュ・フロー計算書に関する注記)

当第3四半期連結累計期間に係る四半期連結キャッシュ・フロー計算書は作成しておりません。なお、第3四半期連結累計期間に係る減価償却費(無形固定資産に係る償却費を含む。)は、次のとおりであります。

	前第3四半期連結累計期間 (自 2024年4月1日 至 2024年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2025年4月1日 至 2025年12月31日)
減価償却費	2,506百万円	2,018百万円